

# 浪江町予想図

- ①「一人当たり毎月35万くれくれ」（←いまここ）
- ②国民から「浪江町へ帰れ！」と大ブーイングされる  
（25年7月頃）
- ③国は避難区域解除（27年3月？）  
反対するのは避難者だけ、国民は安倍政権支持
- ④また東北大震災（27年？）
- ⑤「一人当たり毎月35万円くれくれ」が記憶に新しいため、寄附が集まらない（天罰）
- ⑥浪江町、死の町となる

●「子供の健康」「子供の将来」を交渉ネタにするのは卑怯。リスクも含めての子育てではありませんか。政府へ「税金で被災者を支えるこっちが被害者だ。避難解除を。」と声を上げましょう。

●別の話ですが、健康な生活保護受給者は人格と人相が悪すぎてどこからも雇って貰えなくて生活保護を受けている。支給額を1/5に削減しても餓死しません。プロ集団はずる賢く「餓死ネタ」に終始し、支給額の多さについての議論を避けるようにし向けてている。支給しなければ餓死するからといって、支給額がこのままで良いはずがない。額が多すぎて納税者を苦しめているから問題なのだ。真面目な納税者ほど納税に苦しんで自殺している。尚、驚くほどに動物虐待者と健康な生活保護受給者は一致する。生活保護問題を放置することは動物虐待を容認するのと同じ。

## 被災者問題

言うべきところ	東電お客様相談室（０５０－３０６６－３０３３） 選挙区内の政治家 被災者本人
言うべきこと	「被害者は保障された時点で被害者ではない。必要以上に要求すると加害者となる。被災者は自立すべきだ。充分なお金をもらったのだから」

## 健康な生活保護受給者問題

言うべきところ	選挙区内の政治家 市役所地域福祉課（５２５－３７４７） 健康な生活保護受給者本人
言うべきこと	「健康な生活保護受給者はずる賢くてどこからも雇ってもらえないのだと星野さんが言ってました。健康な生活保護受給者と動物虐待者・虐待飼育者が一致するというのも星野さんから聞きました。健康な生活保護受給者への生活保護費を１／３に下げても餓死はしません。それで餓死したら自己責任。国に責任はない。納税者のほうが先に餓死しそうだ」

### 《お願い》

- 当方へは多くの方から匿名通報が入ります。情報提供者は被災者や生活保護受給者からも嫌われまいとして必死。知り合いだから批判しづらいと。そういう姿勢は卑怯。知り合いなら相手の住所・氏名を把握してるはずだから抗議活動は簡単でしょ！私は抗議文を年間１０００通は作成し、送付やポスティングに追われています。
- 私は生活保護受給者の家に出向いて「生活保護を受けてパチンコ行ってるんだってね。ご近所の方は弱くてずるくて、あなたへ直接言えなくて私に丸投げ。だから私がこうしてあなたの家に来ました。今、この場所から市役所へ電話します」と言って、その場から市役所へ電話。「今、生活保護受給者の家に来て厳しく注意しました。生活保護受給者は、最低の生活ではなく最高の生活をしています。役所は“最低の生活を営む権利を尊重する義務がある”とマニュアルを棒読みしながら、実態は最高の生活を保障してあげているからダメなんです」と。
- 人間は自分が思うほど有能ではありません。有能ならば考えるだけでなく、すでに行動していたはず。皆さんは私見を文書化して世間に発表したことがありますか。私見を世間に発表しない限り、間違いを指摘してくれる人に出会うことはないのです。
- このピラを読んで共感する方が電話してきて「自分も同じ考えだった」と、被災者らに対する怒りを私にぶちまけることでしょう。それは私の時間を無駄にするだけ。その前に、考えるだけでなにも行動できなかった自分を恥じてください。皆さんが《言うべきところへ言うべきことを言う姿勢》に代わらない限り、何も改善されないのです。国民が言葉を失った国は滅びます
- 皆さんは、被災者・弱者という言葉に踊らされないようにしましょう。狡い連中は、弱者・被害者になりすまして、ゴネて得する方法を毎日考えています。そういう者らに憤りを感じるなら、自惚れを捨てて学ぶ姿勢に変え、仲間うちで愚痴を言うだけではなく、行動に出るしかないのです。
- 健康な生活保護受給者は毎日毎日退屈なため、いつも誰かと集っています。なので集団生活をさせれば生活保護費を１／５に下げても餓死しません。それで餓死するようなら無駄遣いした受給者に責任があります。国に責任はありません。

# 生活保護問題 今までの流れと解決策

## 【今 まで】

- 1、人格と人相が悪すぎて、どこからも雇ってもらえない者がいる。  
↓
- 2、生活保護を受けるか、餓死する。  
↓
- 3、餓死報道によって、地方自治体が悪者にされる（←組織的スパイ活動）  
↓
- 4、地方自治体はマスコミを恐れ、生活保護申請者に支給する（←スパイ活動に負けた）  
↓
- 5、餓死報道を見た大衆は生活保護制度に文句を言えなくなる。冷たい人だと思われたくないから。結果、支給額が多すぎることについての議論は盛り上がらない（←スパイ活動に負けた）

## 【改 善 策】

1、健康な生活保護受給者と接点のない大半の国民が、健康な生活保護受給者を「弱者」だと思いついてきた（洗脳されてきた）ことを間違いだと認識すべき。マスコミ報道や書籍を鵜呑みにしてはいけない。そもそもマスコミがどの勢力に便宜を図っているのかを知る必要がある。

2、失業者は必ず貯金が底をつく日が来て、生活保護を受けなければ餓死する。だからといって、生活保護支給額がこのままで良いはずがない。支給額を1/5に下げるべき。餓死を回避したいなら餓死しない程度の支給額で良いのであって、毎日の飲酒、動物虐待、パチンコ通い、競馬通い、医療費無料のため仮病による通院を容認する必要はない。

役所は、受給者へパチンコや競馬をしないようにと指導しているそうだが、支給額を減らさない限り無意味。支給額を減らせば必然的にギャンブルできなくなる。地方自治体は国へ「支給額を下げてくれ、納税者に申し訳ない」と要望書を出すべき。

3、国民は、行政や議員の悪口ばかり言ってないで、役所と近くの議員へ意見を。国民が言葉を失った国は滅びます。